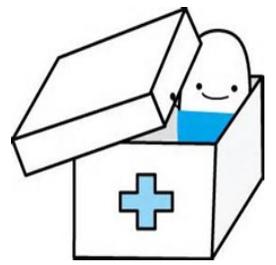


# もうひとつの おきぐすり



へー、狂犬病って助からない病気なんだ。

ある本を読んでいたら、そんなことが書いてあった。日本では、飼い犬のワクチン接種が

法律で義務付けられている為、ほぼ感染者は出ないのだが、海外では、まだまだ身近な伝染病で、しかも治療がなく、感染すると助からないらしい。(知らなかった自分が恥ずかしい。)

ただ、ここで凄いことを知った。亡くなった後の遺体を解剖すると、狂犬病ウイルスは体内から検出されなかったらしい。

どういうことなのかというと、自分のもっている免疫がウイルスに勝っていたのに、生命力が追いつかなかったのだという。

そのことから、ウイルス駆除は、免疫に任せて、いなくなるまで患者を生きし続ける治療というのを、実行した医者がいたという。(ミルウォーキー・プロトコル)

すごいなあと思ったことは、治療方法を見つけた医者もすごいけれど、人間のもつ防御能力に驚いた。初めて闘う相手(ウイルス)にも闘い方を覚えすぐ実行できるのだから。

防御だけではなく、修復能力も凄い。(これは、コードブルーで知った(#^#))

手術中に、その根本治療が患者の生命を奪ってしまうと判断された時には、開腹したまま患者の回復を待つという、

「ダメージコントロール手術」というものがある。はたからみれば、何もしてないように見えるのだが、患者の体は、

生きようと修復作業をくりかえし、手術に耐えられるところまで戻ってくるというのだ。

凄い。まったく人間の体は凄い。

しかし、動物はもっと凄い。

冬眠をする動物は、長い間寝て過ごすのに何故覚めたとき、すぐ歩きだせるのか。人間なら1週間病床にふせたらふらふらだよ。

これらの動物は体内でタンパク質と骨の再利用が出来るらしいんだ。だから、寝たきりにならないんだね。

でも人間は、毎日タンパク質が必要だし、動いていないと筋肉は減っていくし、骨だって負荷がかかっているとすぐスカスカになっちゃうね。

でもきっと人間のことだから、この仕組みを解明して、寝たきりにならない薬とか作っちゃうんだろうね。

結局、生き物って凄い！

今回は、体のもつ力について、感動したので書いてみました。

どんどんいろんなものが進歩していく中、体はどんどん弱くなってきているような気がします。

もっと体を使って、体自体を進歩させたいな、と思う筆者でした。

それでは、またここでお会いしましょう。



JowBコンシェルジュ 風見 浩でした。